

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 詩篇 24:9-10…………… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …………… 180番
- *交読文 …………… 23番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 174番
- 礼拝のための祈り ……… 1部:渡辺和歌子 働き人 2部:小林美之 働き人
- 賛美 …………… 173番
- 聖餐式…………… 281番
- メッセージ …………… わたしの霊があなたがたの間で働いている(ハガイ 2:4-9)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 169番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 ……………
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

祈祷課題

- ・この教会が天の声、すなわち御言葉なるキリストに聞き従い、御心を行う教会であるように
- ・兄弟姉妹達が御言葉をたくわえ、昼も夜も口ずさみ、出るにも入るにも祝福されるように
- ・聖霊に満たされ、弟子の舌が与えられ、大胆にキリストを伝えられるように
- ・主を愛し、御言葉に忠実な、御霊に満ちた働き人、70名が与えられるように
- ・病、貧しさ、悲しみ、捕われの内にある兄弟姉妹のいやし、慰め、解放のために
- ・終末の災い(戦争、地震、飢饉など)に実際に直面している世界の兄弟姉妹達のために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

わたしは、すべての国々を揺り動かす。すべての国々の宝物がもたらされ、わたしはこの宮を栄光で満たす。万軍の主は仰せられる。銀はわたしのもの。金もわたしのもの。—— この宮のこれから後の栄光は、先のものよりまさろう。万軍の主は仰せられる。わたしはまた、この所に平和を与える。(ハガイ 2:7-9)

その日、わたしはわたしの父におり、____はわたしにおり、また、わたしが____におることが、わかるであろう。わたしのいましめを心にいだいてこれを守る____は、わたしを愛する者である。わたしを愛する____は、わたしの父に愛される。わたしもその人を愛し、その人にわたし自身をあらわすであろう。(ヨハ 14:20-21)

2006年4月末、この横浜・弥生町の物件が与えられ、この会堂において「天声教会」として礼拝が始まり、今年4月でいよいよ10年目を迎えた。そこで今一度、設立当初に与えられたハガイ書の御言葉から学びたい。主の家の建て上げにおいても、礼拝の再建においても、主の霊が働かれる事が記されている。『主は言われる、ゼルバベルよ、勇気を出せ。ヨザダクの子、大祭司ヨシュアよ、勇気を出せ。主は言われる。この地のすべての民よ、勇気を出せ。働け。わたしはあなたがたと共にいると、万軍の主は言われる。これはあなたがたがエジプトから出た時、わたしあなたがたに、約束した言葉である。わたしの霊が、あなたがたのうちに宿っている。恐れるな。』(ハガイ 2:4-5)

勇気を出す事の根拠、そして働く事の根拠は、「わたしの霊が、あなた方の内に宿っている」事であり、聖霊拔きの、人間の考え・力・勇気の振り絞りによる働きは、やがて破綻してしまう事は既に学んでいる通りだ。主はまた、昔、エジプトを出た時に約束された御言葉は、今なお有効である事を、思い起こさせている。その時主は、主はイスラエルの人々の内に住んで彼らの神となって下さる事を、そして、主こそ彼らを奴隷の家・エジプトから導き出された神、主である事を知る、と言われた。そして「わたしは彼らの神、主である」という主の御名の”証印”によって、約束は確かであると捺印された。(出エジプト記 29:46-47、20:2)

しかしエジプトを出た民の内、約束の地に入れた成人は、僅か二人であった事もまた、心に留めるべきである。約束の地、主の安息に入るために必要な事は、約束された事を信じ続ける事と、従順な事だ。70人の長老達にも、モーセに注がれたのと同じ主の霊が注がれ、預言したが、それは一度きりで終わってしまった(民数記 11:25)。その時ヨシュアは、招集に来なかった二人にも主の霊が注がれた事にねたみを起こしたが、モーセは「主の民がみな預言者となり、主がその霊を彼らに与えられる事は、願わしい事だ」と言った。今、主の民皆が預言者となり、主の霊が与えられる時代であるが、守るべきは主への従順である。結局、この70人の長老も、カナンの強そうな人達や街々に恐れをなし、約束の地への歩みは止めてエジプトに帰ろう、と言う側に回ってしまい、与えられた主の霊をでモーセを支えるのではなく、反逆する側となり、結局、最後まで信仰と従順を貫き通したヨシュアとカレブだけが、約束の地に入る事が出来た。『わたしの義人は信仰によって生きる。もし、恐れ退くなら、わたしのころは彼を喜ばない。』私たちは、恐れ退いて滅びる者ではなく、信じていのちを保つ者です。』(ヘブル 10:38-39)

ハガイの時代、主の言葉に心奮い立たせられ、実際に山に登り、木を切って主の宮を建てるための行動を起こした人々、御言葉に従順し、主の御言葉によって礎を建てた人達にこそ、主は全地を揺り動かす、全世界の財宝が入って来て、栄光を主の家に満たす、という約束を与えられた。(6-7節)

銀は主のもの、金も主のものである。だから私達は、金銀を求める以前に、全ての祝福の源であり、完全な愛で我らを愛し、ひとり子さえ惜しまずに渡された主をこそ、慕い求めるべきなのだ。

「主の家の後の栄光は、前の栄光よりも大きい」、「わたしはこの所に繁栄を与える」と、万軍の主は言われた(9節)。なんと、これから後の「主の家」の栄光は、あの豪華絢爛な、金銀宝石を豪勢に用いたソロモンの神殿の栄光より大きいのだ。ソロモンが建てた豪華な神殿があった列王記・歴代誌の時代と、神殿より粗末な幕屋で礼拝していたモーセやヨシュア、ダビデの時代と、どちらが主の栄光に輝いていただろうか。結局大事なのは、建築物としての建物ではなく、私達礼拝者という「主の宮」の、主を慕い求める心である。あの山でもなく神殿でもなく、真の礼拝者たちが「霊：御霊」と「真理：御言葉」によって礼拝する礼拝こそ御父に喜ばれる礼拝、求められる礼拝である(ヨハネ 4:23)。今、私達はイエス・キリストを通じ、霊において、真理において、モーセの時代、ソロモンの時代よりもさらに優れた栄光を、主はそこに置いて下さるのだ。

天声の物件が与えられ10年目。新しい領域へと入りつつある。私達キリスト者は日々「新しくされ続け」であり、リフォーム中である(エペソ 4:17-24)。信仰生活をして行くなれば、慣れ親しんだ所にいつまでも留まるという事はなく、主が道を示してくださるなら、いつでもその地へと恐れず、従順し、そして期待と楽しみに胸をふくらませながら進んで行けば良いのだ。行く先は見えないかもしれないが、主が行くように言われたその先に待っているのは、必ず祝福である。その栄光を勝ち取って行く皆さんでありますように！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → [youtube.com/c/横浜天声キリスト教会](https://www.youtube.com/c/横浜天声キリスト教会)

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ 12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:30～

水曜集会

1部 13:00～
2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube